

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む【主な取組】

- (1) 昨年度のあまっこステップアップ調査の結果分析・全国学力学習状況調査の分析・短時間学習・授業改善の推進
- (2) 特別支援教育コーディネーターを中心に個別支援計画・指導計画を充実させる
- (3) 安全・安心な給食の提供 豊かな心の育成
- (4) 授業を支える体育用具等の環境整備・リズムジャンプ・スポーツテストの充実
- (5) スクールGIGA構想に基づく機器の積極的な活用

成果と課題など

- 全国学力学習状況調査及びあまっこステップ調査の意識調査結果の向上・学力向上
- 短時間学習のメリハリのある実施
- めあて―振り返りの定着 ・ 授業改善への意識の向上
- UD化の推進を含めた特別支援教育の充実 ・ 個に応じた自立活動の推進
- アレルギー事案等への危機意識の向上 ・ 安全安心な給食の提供
- スポーツ指導員の導入 → 正しいスポーツテスト時の計測
- ICT推進部を中心とした取組の共通理解
- メディアリテラシーの重要性への教員の意識
- 授業に向かう児童の様子 改善
- メリハリのある短時間学習と授業の実施
- 来年度にむけてのUDの方向性の確認
- 体育関係の備品等の計画的購入
- 学校の環境改善(花・施設等)
- ICTの積極的活用に対する共通理解
- 学びの系統性 学びの積み上げへの対策
- 学年独自の考え方の修正
- プログラム学習への準備



2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る【主な取組】

- (1) 地域とともに―挨拶運動
- (2) 道徳教育の充実 特性に応じた対応
- (3) いじめ認知を中心とした児童の関係改善
- (4) キャリアノート、パスポートの実施
- (5) 不登校 不登校傾向児の情報共有・校長教頭・関係機関の積極的な関与

成果と課題など

- 地域協働本部の推進力の強化
- 「朝活」などの新たな取組 ボランティア増員
- 特別支援教育部、交流担任会等による児童理解と特性に応じた支援の検討、共通理解
- イクシアや北部保健福祉センターとの連携
- 保護者との積極的な面談の計画 (担任・校長教頭―保護者)
- 教育支援員、SC の活用 情報交換

- 児童の問題行動に対する事後指導意識→特性や人間関係を観点とする対応へ
- 情報共有 情報提供の関係強化
- 不登校への困り感の共有 共感→面談 イクシアへのつながぎを大切に
- 保護者、児童 → カウンセリングへ
- ボランティアを増やしていく方策

- 家庭のしんどさへの寄り添い、支援(人的配置の難しさ)



3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む【主な取組】

- (1)・授業改善の意識づけ ―研究の充実
- ・管理職の積極的な授業観察
- よいところ見つけ
- ・元校長による授業改善指導
- ・市教委学校訪問を生かす取組



- (2) ・地域協働本部の活動を核とした活性化
- プロジェクト会議の継続
- ・地域とのつながり強化【地域福祉会議】
- ・コミュニティスクールを見据えた計画的な準備へ

成果と課題など

- 指導助言を受けようとする教員の増加
- 授業改善、教師力向上への積極性
- ベテラン教員を中心とした授業公開
- 研究主任の働きかけの効果
- 市教委訪問をよりよい機会として、自らの課題を見つめたり、課題解決への挑戦に。
- 地域の方 → 授業支援 (昔遊び、裁縫支援等)
- 地域の様々なセクションとの会合 (プロジェクト会議等)
- コミュニティスクールへの方向性の検討
- メリハリのある授業づくり
- 若手教員の成長(大)
- 発問の工夫 待つ姿勢を学ぶ機会に
- 自らの課題発見の機会に
- 児童の学力向上に成果が見られた



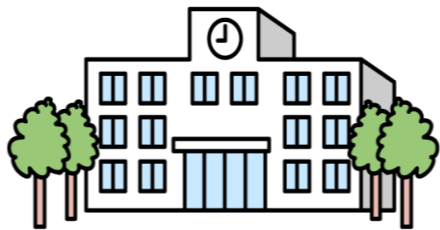
- 地域―学校―地域課との連携
- ボランティア募集作戦の開始へ
- 地域の高齢化
- 教職員への地域の協力―周知不足

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る【主な取組】

- (1) 緊急事態対応
- 保護者引き渡し、地区別、学年別 → 非常変災に応じた対応方法の整理
- 安全点検を設備環境整備に生かす (クラック、天井の傷み等への対応)
- (2) 1. 17における防災教育参観の計画

成果と課題など

- 緊急事態対応についての共通理解
- コロナ禍における訓練や地区児童会実施への工夫
- 避難訓練の課題 反省点を生かした次回の計画(反省を方法の改善に生かす取組)
- 全学級での防災教育実施
- 例年通りの立案から課題解決の視点をもった立案実施につながった
- 休憩時の予告なしの避難訓練の必要性等 これまでとは違う視点での振り返り
- 阪神淡路大震災 東日本大震災に係る動画や画像の活用
- 地域を巻き込んだ避難訓練の計画
- ・地域住民 ・保育所等
- 避難所開設訓練の実施も視野に入れる



教育目標【主な取組】

- (1)・教育目標と学年目標
- 学年・学級目標―振り返り (学期ごと)
- ・児童の実態 課題に対応した取り組み (方法の改善 修正につなげる)
- (2)・グランドデザインに対する教職員の意見集約
- ・児童の実態、学校としての取組
- 子どもを育てる視点(展望)等、現在の思いをワークショップ等で交流
- グランドデザインの改善 (児童、教職員にとってわかりやすく)



成果と課題など

- 学期ごとの目標の明確化
- 児童自らの成長の確認―自尊感情高揚
- 生徒指導との連動
- ボトムアップ感覚を重視した目標設定へ
- 教職員の児童の高めたい部分、信じた可能性など共通理解を進め。 わかりやすい言葉にしていく。(本質の追求)
- コロナ禍において、「やさしさ」「あたたかさ」を高めることに重点をおいたことはわかりやすく、児童の優しさを高めることにつながった

- 自分たちの思いを書き出すということで、教育活動や児童に対しての振り返りにつながった

- 昨年度のグランドデザインを継承したが、求めることが多く、教職員の共有が難しかった

研究テーマ【主な取組】

- (1) 豊かな心をもち、自ら進んで学び合う子をめざして ～つきたい力を意識した授業改善～
- のもと、研究推進を行った
- ・アイテム7の活用
- ・研究授業 ―多賀先生:講師招聘
- (2) 武庫北スタンダード授業の公開

成果と課題など

- 講師から丁寧で示唆に富んだ研修を受けることができた
- ベテラン・中堅の教員が進んで授業を行った
- 個人個人の授業改善の意識は高まった
- 講師による充実した講話の実施
- 年間を通じての研究の方向性
- 研究したことが成果として子どもへの積み重ねに貢献したかの検証ができなかった
- 1時間の授業の進め方 単元を通しての課題解決意識の持ち方等
- 個々の捉え方に開 きが見られた

【学校関係者評価】

- ★コロナ禍の大変な時期に、子ども達のためにいろいろ工夫を凝らして学力向上や体力づくりに取り組んでいることは素晴らしいと思う。授業の質を落とさず確実に学力向上の成果が出ているように感じる。先生方の仕事量が増えているので、業務改善しながら先生方にゆとりを持っていただくことがさらに子どもの学力向上につながるのではないかなと思う。
- ★誰もが過ごしやすい学校の環境づくりができていることはとてもいいことだと思う。相手を思いやり認め合う雰囲気作りは今後も続けていただきたい。登校の様子を見ていると充実した学校生活が送れているのだと思う。
- ★見守り活動や授業のサポートなど、積極的に行われている。学校と地域が子どもを見守って成長を促すことが大切なので、コロナ禍の時だからこそ地域の力に頼ることもいいのではないかなと思う。
- ★感染症予防では、クラスターを出さないように様々な取組を行われて、行事についても出来る限り実施している姿は素晴らしい。
- ★登校の姿を見ていると、元気そうに、楽しそうに挨拶するだけでなく、友達を気遣っている姿も散見できる。相手の気持ちに立って行動できる児童が増えてきているなど感じる。
- ★1年生の昔遊びの活動から感じたことだが、1年生の先生は児童の特性を理解し、素晴らしい対応をしていた。下校時の子ども達の表情、一緒に友達と帰る時に感じる明るさは素晴らしい。